


事業番号	09 04 08	事業改善シート（令和元年度実施事業分）			当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課			
		実施期間	S25～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	労働生産性							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	・河川湖沼では、外来魚及びカワウ等魚食性鳥類による魚類の食害、並びに魚病等による水産資源の減耗がみられる。種苗放流だけに頼らない増殖手法の開発が求められている。 ・養殖業では魚病の発生がみられ、その対策が求められている。信州サーモンに続き信州大王イワナもブランド魚としての地位確立が求められている。また、新たな養殖品種開発を継続する必要がある。 ・県内の漁協は水産資源の減耗、遊漁者の減少、組合員の高齢化や減少等により経営が厳しい。水産資源の回復はもとより、経営の効率化が必要である。
	【目指す姿】
	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化、並びに地消地産の一翼を担う消費者から求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現を目指す。
	【実施内容】
	水産資源の保全、漁協の健全かつ適正な運営の確保、養殖業の発展、水産業の振興に資する試験研究・技術開発及び技術指導並びに種苗生産など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	H30年度	R1年度	
								前年度繰越		
1	研究目標達成率	17%	17% →	18% ↗	18%	達成		現計予算	81,625	85,629
2	信州ブランド魚生産量	401 t	439 t ↗	450 t ↗	420t	達成		合計(A)	81,625	85,629
3								うち一般財源	44,176	45,793
4								決算額(B)	81,048	84,609
							職員数(人)	29.5	29.5	

成果指標設定理由	①長野県の水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上のための研究課題について進捗状況を評価できる指標として設定 ②県内養殖業の振興、特に信州ブランド魚の生産及び消費拡大を図るため、その目標として設定
達成状況の分析	①信州ブランド魚の高品質生産技術開発や溪流魚への温暖化緩和技術開発、外来魚駆除技術開発において新たな知見4件(22課題中)の成果が得られたことにより、目標を達成した。 ②信州サーモン、信州大王イワナの生産量が、それぞれ425t、25tとなり、目標を達成した。

主な取組	✓信州サーモン、信州大王イワナの種苗の増産 ・生産者のニーズに対応するため信州サーモンと信州大王イワナの稚魚を増産 ・令和元年度は、信州サーモン41万尾、信州大王イワナ7.9万尾を出荷	出荷尾数(万尾) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州サーモン</td> <td></td> <td>36.6</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>信州大王イワナ</td> <td></td> <td>5.9</td> <td>7.9</td> </tr> </tbody> </table>		年度	H30	令和元年	信州サーモン		36.6	41	信州大王イワナ		5.9	7.9
		年度	H30	令和元年										
	信州サーモン		36.6	41										
信州大王イワナ		5.9	7.9											
✓信州ブランド魚に適した冷凍加工技術の開発 ・信州サーモンに続き、信州大王イワナに適した冷凍方法を検討 ・急速冷凍を行うことで、ドリップが少なく高品質に														
✓信州の釣りをPRするため、のぼり旗を作成 ・釣リズム信州推進事業として、のぼり旗60枚を作成 ・千曲川戸倉上山田地域等での釣りイベントで、信州の釣りをPR	 のぼり旗の掲出(戸倉上山田地域釣りイベント)													

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	魚食性鳥類等による魚の食害の発生	魚食性鳥類等による食害を低減させるため漁協の取り組みに対して引き続き補助を行う等により、漁業資源の有効活用を進める。
	高齢化による組合員の減少や遊漁者数の減少により、漁協の経営の体質強化が必要	観光など関係者との連携により、釣リズム推進事業等を進め、漁場の活性化を図ることで、漁協の経営を安定化させる。
	養殖生産現場での魚病対策や養殖技術等の課題	儲かる養殖業の実現を目指し、科学的知見に基づく技術的支援を行うことで、生産効率の向上を目指す。

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	外来魚等食害防止対策事業	1,789 千円	1,835 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策のため、駆除に関する講習会や隣県の対策会議に出席し、情報収集を行った。
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚対策9団体、カワウ対策7団体、ミンク対策1団体の取組に経費補助し、漁業被害等防止対策を推進した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	諏訪湖環境改善対策事業	65 千円	46 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	漁場活性化のための取り組み	直接	2月に国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所から専門家を招聘し、天竜川水系の漁協を対象とした広域的なカワウ対策についての講演会を開催した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	信州産魚介類消費拡大推進事業	520 千円	168 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	信州おさかなPR事業	直接	県産養殖魚、河川湖沼魚介類消費拡大のため、PRパンフレットを2000部増刷し、養殖漁協や地域の大学等へ配布した。
2	魚の魅力普及事業	直接	長野県立大学の学生23名を対象に信州ブランド魚、マス類養殖現場の見学会を実施し、食材としての淡水魚の生産ルーツを知ってもらった。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	釣りリズム信州推進事業	124 千円	182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	信州の釣りPR事業	直接	のぼり旗を60枚作成し、釣りイベントなどで活用することで、釣り客や観光客に対し、信州の釣りのPRを行った。
2	遊漁振興推進指導事業	直接	遊漁振興として、千曲川戸倉上山田地域の釣りイベントの開催や冬季ニジマス釣り場設置に係る助言・指導を行った。また、木祖村のテンカラ釣り優先区の情報の発信や人工産卵床造成に携わった。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
5	漁業指導事業	1,420 千円	1,350 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	漁業指導調整事業	直接	県内の漁業協同組合に対し、漁業権の管理や行使について指導を行った。
2	組合検査指導事業	直接	漁業協同組合の業務、会計状況について、13漁協で検査を実施した。
3	漁場利用調整事業	直接	令和元年度は漁業権者からの申出が無く、協議会は設置されなかった。

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
6	水産試験場運営費	38,861 千円	39,594 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算執行により円滑な運営を実施した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
7	水産試験場試験研究費	12,126 千円	13,574 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	増養殖技術の改良・確立	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・アユの疾病対策：放流用種苗検査6件 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発：支流の生態の解明 ・特定疾病対策研究：KHV・レッドマウス病の防疫 ・ワカサギの遊漁利用開発：遊漁振興方策の試行
2	市場性の高い品種の開発	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州ブランド魚の開発・品種改良：育種素材の開発・保存 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発：冷凍加工技術研究 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験：系統別の成長比較試験
3	水産環境の保全	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・外来魚駆除技術開発：河川における駆除技術開発 ・諏訪湖の漁業安定化技術開発：シジミ増養殖技術開発

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
8	水産試験場技術指導費	3,564 千円	3,673 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	養殖漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・魚病診断・対策指導など安全・安心な魚作りに関する指導697件 ・養魚巡回指導：薬事巡回指導20件、信州サーモン等生産者指導20件 ・養魚講習会3回
2	河川湖沼漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・外来魚対策など水産環境保全指導・増殖手法の普及や漁場管理指導371件
3	寒天製造技術指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・製造期の巡回指導10件 ・原藻の性状分析14件 ・製造品等の依頼分析214件

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
9	水産試験場種苗開発費	22,579 千円	24,187 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	ニジマス種苗供給 在来マス・信州サーモン 種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ニジマス種苗等の供給：全雌・三倍体卵166万粒、不要魚(雄)1,3t ・信州サーモン種苗等の供給：信州サーモン稚魚41万尾、信州大王イワナ稚魚7.9万尾 ・在来マス種苗の供給：イワナ普通卵49.9万粒
2	アユの種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・アユ種苗の供給 稚魚37.5万尾、大型稚魚1.8t
3	シナノユキマス・フナ等 種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・シナノユキマス種苗供給 ふ化仔魚77.4万尾、稚魚12万尾、未成魚700kg ・コイ科魚類種苗供給 ウグイ稚魚30.3万尾、ウグイ大型稚魚51kg、フナ親魚1.2t